

2024年3月6日

センクシア株式会社

鉄骨造埋込み柱脚の側柱・隅柱補強工法 「ベアリングダイアベース[®]工法」を新発売

建材機器の製造・販売及び関連工事を行うセンクシア株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員：笠原 伸泰）は、鉄骨造埋込み柱脚の側柱・隅柱補強工法「ベアリングダイアベース工法」を発売します。

側柱や隅柱の柱脚として埋込み柱脚を用いる場合、柱脚に基礎梁が取り付けられない側のコンクリートの破壊を防止するために、U字形の補強筋（以下、U形筋）、その他これに類するもので補強する必要があります。ベアリングダイアベース工法は、U形筋の代替として、ベアリングダイアベース（鋳鋼製のベースプレート及びダイアフラムと補強筋となるねじ節鉄筋が一体化された部材）を用いる工法です。

■ 特 長

1) ベースプレート及びダイアフラムと一体化された補強筋（^{いぐる} 鋳包み鉄筋）

鋳包み鉄筋は、鋳包み鋳造法によって鋳鋼製のベースプレート及びダイアフラムと一体化された鉄筋であり、別に用意する鉄筋（延長鉄筋）を機械式継手により接合し、補強筋の定着長さを確保します。そのため現場での配筋作業が容易になります。

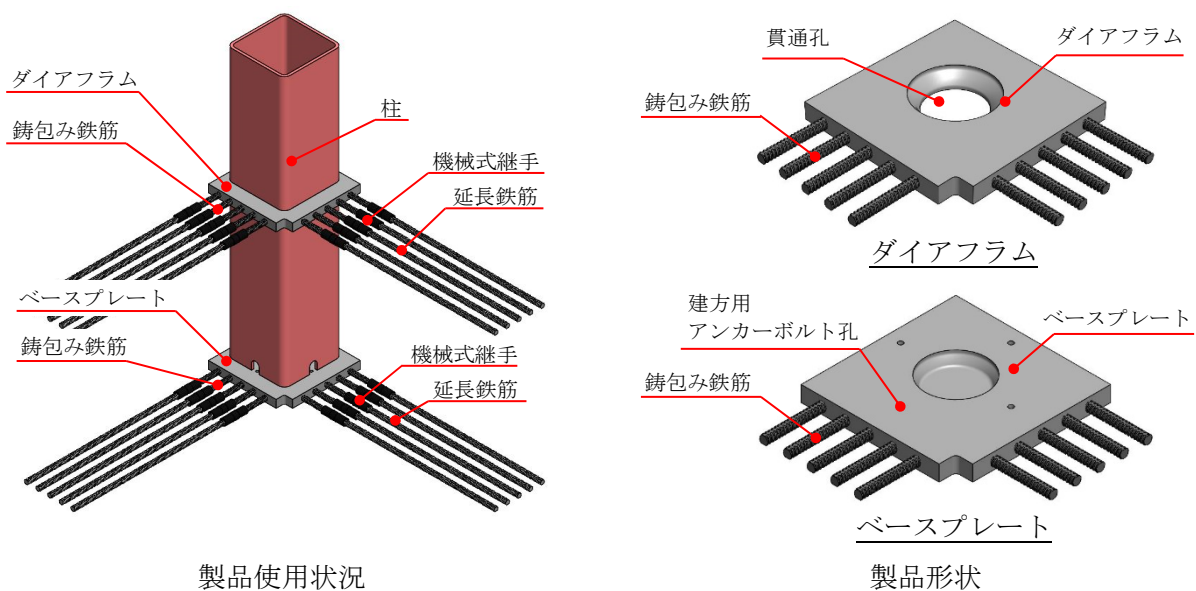


図 隅柱タイプの例

2) 埋込み部柱周りの過密配筋改善・基礎のコンパクト化

鑄包み鉄筋はベースプレート及びダイヤフラムの幅内に配置されており、U形筋のように多段配筋を行わないため、U形筋と比較して、施工の煩雑さや埋込み部柱周りの過密配筋が軽減されます。また、基礎梁主筋との干渉も軽減されるため、基礎梁の拡幅を抑え、基礎のコンパクト化に寄与します。

3) 国土交通大臣認定及びベターリビング評定を取得

ベアリングダイヤベース工法は、材料について国土交通大臣認定（MSTL-0555、MSRB-0126）、工法について（一財）ベターリビングの評定（GBL SS008-22）を取得しています。また、柱脚部の性能及び補強効果は実大実験による検証を実施しており、実験結果を基に既往の設計式^{※1) 2)}にて耐力評価が可能であることを確認しています。

※1：「2020年版建築物の構造関係技術基準解説書」

（国土交通省国土技術政策総合研究所、国立研究開発法人 建築研究所 監修）

※2：「鋼構造接合部設計指針」（2021, 日本建築学会）

■ 商品概要**1. 商品名**

ベアリングダイアベース工法

2. 仕様

側柱用ダイアフラム

側柱用ベースプレート

隅柱用ダイアフラム

隅柱用ベースプレート

3. 納期・販売価格

お問い合わせください

4. 製造・販売元

センクシア株式会社

東京都港区東新橋二丁目3番17号 モメント汐留

TEL : 03-4214-1932 (構造本部)

5. 販売開始日

2024年3月6日